

＜文章の要旨を捉えて読もう＞

「見立てる」「言葉の意味が分かること」

目標 ・ 文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することが出来る。

① 「見立てる」を読んで取り組もう。

(1) 次のような、どの段落に書かれているでしょうか。

段落番号を書きましょう。 ※この含まれる段落もあります。

- ・ 筆者の考え・主張
- ・ 見立てることの説明
- ・ 見立てることの性質
- ・ あやとりの事例
- ・ 同じ形に対してつけられる名前が違う例

- (1) の答え
- ⑤ 筆者の考え・主張 ①
 - ※このように、最初と最後に筆者の考えが述べられている文を「双括型」といいます。
 - ① 見立てることの説明
 - ③ 見立てることの性質
 - ② あやとりの事例
 - ④ 同じ形に対してつけられる名前が違う例

(2) 筆者の主張が書かれている段落を参考に、「見立てる」の要旨を書きましょう。

30	60	90														

(3) 筆者の考えに対する自分の考えを書こう。

筆者が言うように、私たちは「見立てる」という行為
 をしていると考えます。小さい頃にしていた「遊び」
 も、ジャンプのシムをちやうやに見えたり、イスを並べて家
 の部屋に見立てたりしていた。たしかに、そこには、
 想像力が支えている世界があった。

※要旨の例
 私たちは、あるものを別のものとして見る「見立てる」という行為をしている。それは、私
 たちの構造力にさせられている。想像力は、私たちを育んでくれた自然や生活と深くかわ
 っている。(87字) ※星座もそうですね。見立られているものは、他にもあるかな？

二 「言葉の意味が分かること」を読んで取り組もう。

(一) 全部で十二の段落があります。教科書に段落番号を書こう。

(二) 次のことは、どの段落に書かれているでしょうか。

段落番号を書こう。 ※ここに含まれる段落もあります。

- ・筆者の考え・主張
- ・「言葉の意味には広がりがあること」の説明
- ・事例1「母国語を学ぶとき」の説明
- ・事例2「言語間の違い」の説明
- ・言葉の意味を面として理解することの大切さ

(三) 筆者の考えに対しての自分の考えを書こう。

・書き方の例

「私は、筆者の~~~~という考えに共感です。なぜなら……
しかし、~~~~という部分に納得できません。なぜなら……」

- (2) の考え
- ・筆者の考え・主張 ①②
 - ・「言葉の意味には広がりがあること」の説明 ②~④
 - ・事例1「母国語を学ぶとき」の説明 ⑤~⑦
 - ・事例2「言語間の違い」の説明 ⑧~⑩
 - ・言葉の意味を面として理解することの大切さ ⑪

私は筆者の述べるように、「言葉の意味が分かることは
奥深いことである」という言に共感します。なぜなら、今までの経
験から言葉の意味を理解して使い分けています。改めて
考えてみるととても複雑であることを実感できます。また、筆者が
「コンピュータの間ちがい」「食べる」などの例をあげて

「言葉の意味は面である」と説明しているの、で分かりやすいのは
ですね。しかし、筆者は、言葉の背景には文化・風土(地勢)
が関わっていることにも触れるべきだったと思います。そうする
ことでさらに「奥深いことである」ことが読者に伝わると思います。

朝日新聞 ⑤ 5月22日 (金)

四 「言葉の意味が分かること」を読んで取り組もう。

(一) 筆者の主張が書かれている段落を参照し、「言葉の意味が分かること」の要旨を書きましょう。(150字以内)

150 120 90 60 30

※要旨の例
言葉の意味には、広がりがある。適切に使うためには、意味のはんいを理解する必要がある。このことは、普段使っている言葉やものの見方を見直すきっかけにもなる。言葉の意味を「点」ではなく、「面」として理解することが大切である。新しい言葉に挑戦するとき「言葉は面である」ということについて考えてみてほしい。(150字)

(三) 筆者の考えに対する自分の考えを書きなさい。

この説明文を読んで、言葉の広がりや面としてとらえること、大切さが分かりました。先日、小さな子が「お茶わんを指して、「お皿」と言っていました。私は「おわんなのに何？」と思いましたか、改めて考えると、「皿」と「わん」の差、ちがいをしっかりと説明できるように矢付きました。さらに考えることと、「んぷり」ものような器を表しているのかなと疑問が増えました。つまり、筆者が主張する「新しい言葉、言語に挑戦するときにはもの見方も見直ししたり、言葉を面として考えるりする

ハハハ 意識したこと考えました。

〈日常を十七首で〉

- 一 教科書P60〜62を読んで取り組もう。
- (一) 教科書を音読しよう。

(二) 俳句を5つ作ろう

※季語を入れる(教科書参照)

①	桜とぶ	友とさよなら	旅立つよ
②	夜のつり	どこへ連れ行く	友の父
③	たいくつだ	学校休校	曇り空
④	かなしいな	進級したのに	行けないよ
⑤	たいへんだ	課題たぷり	やりきれん

(三) 表現を工夫しよう。

作った俳句から1つ選んで、表現を工夫しよう。

①言葉を選ぶ

★どんな言葉がかなあ。

①	桜まつ	友とのわかれ	旅立つ日
②	初まつり	どこへ行くのか	友の父

②言葉の順序を工夫する。

★入れ替えてみよう。

①	旅立つ日	友とのわかれ	桜まつ
②	友の父	どこへ連れ行く	夜のつり

③別の文字で書き表すか考える

★漢字にするか

①	桜舞う	友との別れ	旅立つ Day
②	初夜釣り	どこへ連れ行く	友の父

(四) うまくできた俳句を1つ選んで書きましよう。

★これに決めた。

①	桜舞う	友との別れ	旅立つ日
②	初夜釣り	どこへ連れ行く	友の父

完成!!

過去の小学生の入選作品

- ・夏の夜 たらいの水に 星うつす
- ・アブラゼミ 生きる分だけ 鳴いている
- ・ひまわりと おなじになった わたしのせ
- ・ピーだまと たたかいながら ラムネのむ
- ・おにはそと ママからでてけ おこりむし
- ・炎天下 みんな無口の 帰り道

(「インターネット俳句」より)